

ふれあい新聞

(第23号) 平成4年7月1日 田中野田町内会

町内会から

副会長 上野山 信一

「光陰矢のごとし」といいますが、先号を発行してから早くも2カ月が経ちました。その間、会長以下役員一同全くの白紙の状態から毎日努力中です。今後ともよろしく。

梅雨の季節とはいえ、本格的な雨はありませんが、この新聞が出る頃には、本格的な雨の日が続いていることと思われます。水の被害に遭わないよう、各人で十分注意して下さい。

さて、田中野田地区区画整理事業も皆様の御協力によりまして、目下75%の進捗率となっております。やがて美しい町並みに変わることでしょう。

それに伴って、ゴミの収集場所の整備が急務となり、早急な対策が必要となっております。

1. ゴミステーションの建設について

先日ゴミステーションの建設委員会を設け、種々協議をした結果、本年度は次の2カ所(新橋、田中野田バス停)に建設することになりました。市の補助金等を併せ実施しますが、付近の地権者の御好意と御理解によりまして出来ますことに、感謝しております。御礼申し上げます。

今後予算的な面で可能な限り、長期計画をもって逐次残りの個所の新設も考えておりますので、何卒御了承下さいませようお願い申し上げます。なお使用については、何時までも美しく皆様が気持ちよく利用できるよう、管理に十分留意して後日まで喜ばれるものにしたいたいです。

2. 夏祭り及び秋祭り等について

これから町内において各種行事が続々と行われますが、皆様の御意見を十分取り入れ、楽しい意義ある行事にしたいと役員一同考えておりますので、よろしく御協力をお願いします。なお、白髷官の秋祭りについては来年が当町内会の当番にあたっておりますので、今年は実施状況等をよく見て参考にし、円滑な実施に向け努力するつもりです。

92夏祭りのお知らせ

8月8日(土) (雨天のときは8月9日)

夜店、花火、ビアガーデンと盛りだくさん
ご家族そろってお越し下さい

夏祭り実行委員会



近隣町内のゴミステーション

町内へコピー機を原建設より寄贈戴きました。町内会長宅にありますのでご利用ください。

体協だより

田中体協理事 横野 良典

1. 平成4年度 西学区体育協会総会開催される

今年には会長以下役員全員留年の年
田中野田体協会員は次の通り

田中体協理事
横野 良典

田中野田体協役員

和気 茂	白石 晴通
和気 健	安本 末広
福富 勉	光延 秀雄
大森 仁一	木村 強
応江 一郎	山上 幸男
香山 寛	小林 信夫
白石 誠	和気 芳夫

2. 平成4年度事業計画

- 6月28日 第18回学区民バレーボール大会(御南中体育館)
- 6月~8月 第2回近隣六学区区体協親善サッカー大会(御南中)
- 7月~8月 第2回西学区サッカー大会(御南中グラウンド)
- 田中野田ソフトボール愛好会参加
- 開会式 7月 1日
- 第1試合 7月 9日
- 第2試合 7月 27日
- 9月 上旬 第6回ゲートボール大会
- 9月 上旬 第1回グラウンドゴルフ大会(御南中グラウンド)
- 10月 4日 第32回学区民運動会(予備日10月10日)
- 10月 25日 第51回岡山市民体育大会(県総合グラウンド)
- 11月 8日 第23回学区民卓球大会

3. 専門部活動

卓球教室	毎月	第1, 3 曜日	PM 1:00 ~ 3:00
卓球同好会	毎週	金曜日	PM 7:00 ~ 9:00
婦人バレーボール	毎週	火曜日	PM 7:00 ~ 9:00
西テニサー	毎週	土曜日	PM 1:30 ~ 4:30
剣道スポーツ少年団	毎週	水~土曜日	PM 7:00 ~ 9:00
卓球教室	毎月	木曜日	PM 5:00 ~ 8:00
		日曜日	PM 5:00 ~ 8:00

★今年から新たにミニバスケットボールクラブが加わりました。

以上 事業計画・専門部活動が決定されました。
参加希望の方々は"横野"までご連絡下さい。
スポーツを通して町内の親睦と和を深めようではありませんか!



ふる里の川

和 気 茂

我が家の近くを笹が瀬川が流れている。川の源は定かではないが、津高町の吉宗付近と思われるところから発して、一宮、当新田、そして児島湖へと下っている。

川の長さは30km足らずであろうか、いつもは静かに流れているが、大雨が続く洪水の恐れがあるときには周辺の水を吸収し、いくらかは水位は高くなるものの、しっかり洪水から守ってくれている。

私は思いついた時ではあるが、この川の堤防や堤防を下りたところの河川敷によく足を運ぶ。いつ来ても懐かしさ、静けさ、落ち着きを提供してくれるからである。ここは、旧国道2号線の白石橋を数km下った辺りで、整備がなされる景色もよくて家族で楽しめるというところではない。

河川敷は葦(あし)に覆われ、川辺には、昔投網漁にでも使われていたと思われる廃船が川底に埋まっていたりして、以前から何ら人の手が施されていない河川とでも言った方がよからう。

子供の頃には魚釣り、堤防に沿った廃川地での草野球、お互い石を投げ合っても届くはずのない対岸の他小学生とのなぶり合いの喧嘩、今ふりかえってみてもこの辺りで毎日といってもよいほど遊んだものだが、広々とした静かな田舎だったせいか、誰からも束縛を受けた記憶はない。

この川も児島湾の締切堤防ができる昭和30年過ぎ頃までは水は海水に近く、現在とは比較できないほどきれいなもので、当時はコイ、フナの他にハゼ、シジミ貝などが生息していたのを覚えている。今では水が淡水化したことや、生活廃水の汚れなどから当時の魚類の姿が消えてしまったことは残念としか言いようがない。

しかし、いつ来ても、この辺りの堤防から笹が瀬川を見渡す情景は、当時の姿をそのまま写し出してくれているようで、その度に私の心を和(なご)ましてくれるのである。

この笹が瀬川の自然が保護されて、いつまでもよきふる里の川であり続けて欲しいと願っている。